

(議事要旨)

○社会資本総合整備計画『滋賀県における安全安心な都市公園づくり【重点】(防災・安全)「その2」』の中間評価について

●委員

金亀公園について、彦根市長の話としてレジャーボート禁止区域の設定で今後、賑わいを造ることの大切さを聞いていた。県の事業においても賑わいの創出へ向けて取り組まれていることを知った。また、難航していた用地が進んで良かった。ありがたいと思う。

びわこ公園について、以前から駐車スペースが少なく施設が奥まったところにあった。また、西側の広場に避難する建物がなかった。今回の整備で、西側の広場からの避難路や各施設へのバリアフリーの園路、駐車場の拡張はありがたい。

●委員

資料の文言「安全安心」と「安全・安心」は統一してほしい。
メインスタンドの一時避難場所は、何人分を想定しているのか。また、備蓄場所には何人分を備蓄するのか。避難訓練の計画はしているのか。

●都市計画課

一時避難場所について、整備以前は彦根市の体育市民センターがあり一時避難場所と指定されていた。今回の整備では収容人数以上を確保している。備蓄場所については、備蓄物資や人数分を市の防災部局とこれから協議していく。避難訓練の計画も同様である。

びわこ文化公園では、避難訓練としてイベントで「そなえパークの日」を年1回実施している。

●委員

P.21の広域陸上輸送拠点の増加面積の実績値0.3haと計画値0.1haの対象公園はどれか。
また、P.22のイベント等の回数増加率の実績値40回の対象公園はどれか。

●都市計画課

広域陸上輸送拠点の増加面積について、中間目標値の数値はびわこ文化公園のみとなっている。びわこ文化公園において、目標値より大きく整備した。

イベント等の回数増加率の実績値40回も、びわこ文化公園のみとなっている。金亀公園は、現在整備中で中間時点での実績値には反映されていない。

●委員

イベント等の回数増加率について、当初38回の実績はどの公園か。

●都市計画課

びわこ文化公園となっている。

●委員

38回のイベント回数の内訳は、県が主導して実施されているのか。

●都市計画課

イベント回数の内訳について、ほとんどのイベントは指定管理者が実施している。

●委員

今後、イベント回数の増加率の目標達成（50回/年）へ向けた県の取り組みはどうか。

●都市計画課

公園協議会をとおして各関係団体や周辺施設、地元住民の意見を踏まえながら、イベントを実現できるようにサポートしていきたい。

●委員

今回の事業内容により、具体的に整備した箇所を活用した取り組みで目標を達成する計画が必要であるとする。

●都市計画課

50回/年の目標は、冬場などの閑散期にもイベントを実施し概ね4回/月以上実施することで、公園に賑わいを創出する計画としていた。取り組み方については、しっかりと計画していく。

●委員

イベント回数 50回/年というのは日数か。

●都市計画課

3日でも一連であれば1回としてる。

●委員

目標として50回でも良いが国の交付金を入れた事業として、計画の目標に沿った内容のイベントを開催してほしい。また、イベントの増加が整備とどの様に関係しているかの整理が必要。

今回の事業で、防災整備のため駐車場の拡張や園路のバリアフリーを実施することは大切だが、緑豊かな環境を考えると本当に良かったか少し疑問がある。今後、運営の中で緑の再生を考えて欲しい。これからの整備では、バランスを取った計画で進めて欲しい。

●都市計画課

事業で伐採した箇所では、指定管理者やボランティア団体と協力しながら再生を進めていく予定である。

●委員

過去に近代美術館の催しで、公園周辺の幹線道路で渋滞を起こしている状況だった。図書館もたくさん利用者が来ている。駐車場台数の確保はこれまでの課題だった。私は、今回の駐車場整備はありがたいと考えている。

●委員

海外の美術館では、樹を残し自然と一体化した駐車場整備がある。参考にして欲しい。

●都市計画課

西駐車場では、一部通常時に芝生広場として利用できるように整備している。
今後の整備は、ご意見を参考にして進めたい。

●委員

「にぎわい」ということは、経済効果につながる。金亀公園の費用対効果 1.7 はどのように算出しているのか。

●都市計画課

誘致圏域内の他公園からの情報を基にして利用者を出すなどして費用対効果を出している。国の基準を用いて算出している。

(以上)